り、加之も給料に於て一定の協定を得る其他一切の勞働條件が我々の利益に解決されると、然れども此悅びは束の間で、戰は勝つたが、勞働者への條件實行は政府がナカ〳〵實行せぬ、そこで三角同盟を造つて、一昨年から大仕掛けの同盟罷工が行はれたことは諸君の記臆に新たなる所ろであらうと思ふ、戰の不利であつたものを有利と爲し、遂に獨乙に勝ち得たのは、大部分勞働者の力であると云ふからに、勞働者の鼻息の荒いこと夥しい其鼻息の餘りに荒く、餘りに猛烈に進み過ぎた結果、一昨年の同盟罷工は失敗に終つた、夫れは餘りに政治化し過ぎ、餘りに極端に走り、餘りに國家の産業を無視した爲めに、能率は下り、物價は騰貴し、爲めに當然の結果として生活難を呼び起し、社會全般より同情を喪つたのであつた、政府は此の機を逸せず、一般公衆の同情が勞働者より離散するところを捉へて、公衆を以て勞働者に對抗せしむる政策を採つた、同盟罷工は恐るべき社會的大犯罪である、生産能率の減少は國民一般の生活を危殆に陷るゝもので、其罪は勞働者の過酷なる主張からであると油斷なく宣傳し、一方勞働者の空氣を緩和する爲めには、勞働者には相當の條件實行をほのめかしつゝ、和戰兩樣の政策を採つて成功したのであつた、勞働聯盟の爲めに政府は一時軍隊の出動もやつた、しかしながら勞働者は軍隊の威力位で鎭まるのではない、只公衆の同情を喪ひ、社會より抗擊された爲めに運動を中止した、大體に於て勞働者が國家産業の大本を破ると云ふことが國民として愛國心に戻るものなりとの自覺より同盟罷工を罷めて讓歩の態度に變つたのであつた事を諸君は十分に諒解せんければならぬ

祝勝イルミネーション

平和克復と共に佛國の喜びは絕頂に達した、其七月の十四日より連日に亘る祝賀會は驚天動地し國民は、踊り、舞ひ、跳り、全くの狂人團を演出した、佛國各市のイルミネーションは白晝を欺く如く、加之も華美を極めた、其電字は各市一樣に「我々は戰爭に勝ち得た、之れより吾人は働かざるへからず、働いて世界の戰爭に勝たざるへからす」

併し、彼等は國家が戰爭中交換條件として約束したことを實行せぬ以上、勞働者は何處までも相爭ふのである、一時社會の同情を失つて挫折はしたけれども、其鎭靜したのは一時の雌伏であつて、彼等は機を得て捲土重來、必ずや驚天動地の大活劇を演出するべく期して居た、之れが即ち今回勃發したる所以であることを十分に了解して欲しいのである

一昨年の同盟罷工を歐米勞働視察中に目擊した坪井九八郎男は言ふ、英國の同盟罷工は條件履行に原因して勃發したのである、其の内容も識らず、徒に英國に傚ひ日本の勞働者に同盟罷工を煽動するなど實に言語同斷と云はざるを得ない云々

本年の四月一日は實に英國政府が戰爭中國家管理の下に經營したる炭坑を元の持主に復歸せしむる期限である、政府は勞働者に約束したる條件を明かに破つたのである、勞働者の捲土重來の機は爰に到來した、彼等は今日は死を賭しても之れを爭はずには居らぬ、又た來る六月一日は鐵道を同じく所有者に戾す期限である之には交通勞働者が勃起せずには居らぬ筈である、輸送もそうである、爰に三角同盟の大罷工は勃發せざるを得ない

坪井男爵の說の如くに、日本には日本の國情ありて、直ちに英國を眞似るべきではない、併ながら近來勞働問題は國際化するの趨勢を有するが故に、此等の運動が國際化して世界の全面に進み來るものとせば、恐るべきは今回の英國大罷工の波動である、故に我等は十分に此の間に處して研究に研究を重ね、歐米は兎も角も、日本丈けは此渦中に入らずして、國情と相容るゝの範圍に於て勞働改善の途を立てたいものである

英國の大同盟罷業

英國首相の演說

幾度か繰返されて幾度も失敗に終つた英國の同盟罷業も、今回は最後の決心を以て決死的に結束したので、其猛烈さも想像の外である、是迄勞働者の企てが何時も失敗に終り其目的を達し能はざりし所以のものは、資本主の勢力が偉大なるが爲めのみにあらずして、英國民の國民性が突飛的な過激破壞を好まさる、所謂秩序的進步の穩健性であるのと、勞働者の要求が餘りに民度を超越し過ぎて、思慮深き國民に對しては甚だ急激であつたが爲めである、今回も前回同樣勞働者の叫びが頗る峻烈であつて、一般國民の同情をうけて居ない爲めに、矢張前回通り失敗に終らんとするの傾向を現はしかけて居る、運動の猛烈なる割合に每も産業組織には大動亂を生せずして、平和に克復し得るのは英國國民性の特點で、他國の眞似し能はざる美點であるが、今回に於て首相ロイド、ジョージー氏が、此の國民性を一層に鼓舞した演說を去る七日倫敦より特電された

電文

英國首相ロイド、ジョウジーはメイドストーンに於て統一黨主催の演說會に於て演說して曰ふ、今日まで久しきに亘つた猛烈なる炭坑夫の紛爭中未だ幸に不祥事件の勃發せざりし事は偏に英國民の思慮あることを示すものである又た全國利益共同協定が一切の産業に適用せらるゝことゝならば全國に通じて勤勉努力の美風は亡びるであらう、坑夫聯合會は國民を饑死に陷れて不當の解決を得んと要求するものである、故に英國國民は嘗て大戰爭の艱難に能く耐へ得た忍耐力を以て此際今暫らく此の難局を忍ばんことを勸告す

右の演說の要旨要點を摘めば、

一、思慮ある國民なるが故に不祥事變の勃發なきこと

國家を破壞するまでの暴動に出でざるは流石は英國民の思慮あるが爲めにして、勞働者の目的を達するが爲めに國家を犧牲にするが如き妄動を爲さゞることは流石は英國の國民である、

二、全國利益共同協定は勤勉努力の國民性を亡ぼすのである

賃銀を一定にすることは一應理の如く見へて其實は勤勉する人が無くなり技能を鍊磨する人が無くなる、一國の進運が爰に於て止まる

三、坑夫聯合會は國民を饑死に陷れても自己丈の上に利益の解決を得んと要求するのである

同盟罷業は只單に資本主坑主を苦しましむるの罪惡なるのみならず、一般産業界の罪惡であると同時に國家的の大罪惡である、勞働者が自己利益の要求に熱中して國民は爲めに餓死するも更らに顧慮する所ろない、之れは實に國民の生命を犧牲にして自己の利益を要求するので國家的大罪惡である

四、國民は嘗て戰爭中悲慘なる忍耐を以て勝ち得た其忍耐力を以て此際今暫らく忍耐せよ必ず最後の大勝を得るであらう

國民は戰爭に於て國家を死守した忍耐力悲慘なる生活の苦を忍んだ忍耐力、凡らゆる忍耐を以て此の難局に當りて今暫く忍耐せよ

前回の同盟罷業が無事に鎭定したのは、軍隊出動の力にあらずして資本主の子弟妻女は勿論、貴族の夫人や令孃までが、總出の勞働補缺補充をやり、或は車掌となり、或は鐵槌をとり、或はハンドルを握つて、能く時局に當りて事難を救ふた爲めであつたことは事實である、今回も